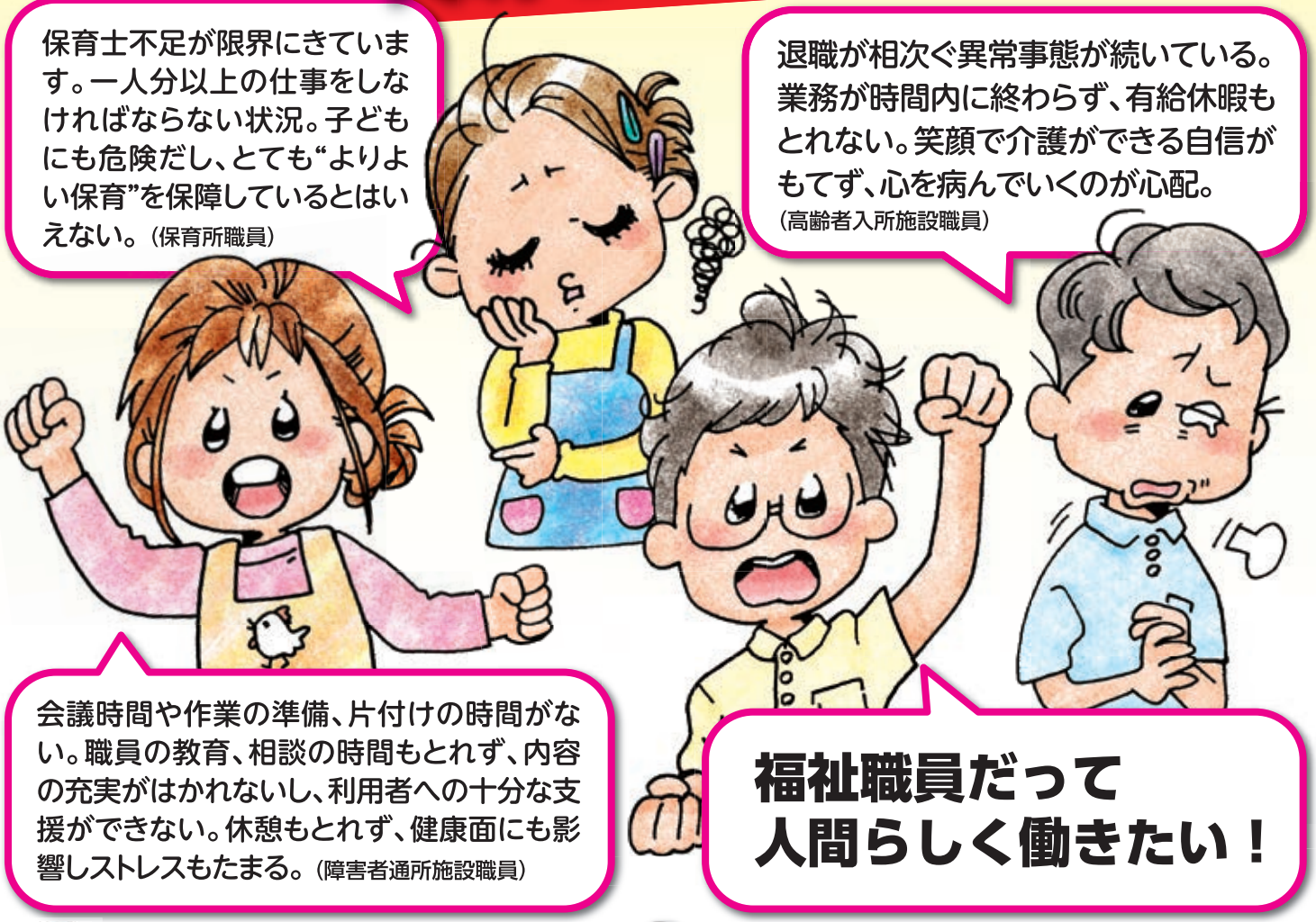
サービス残業やワンオペをなくして！

～安心できる福祉が実現できる労働環境を～

保育士不足が限界にきています。一人分以上の仕事をしなければならない状況。子どもにも危険だし、とても“よりよい保育”を保障しているとはいえない。（保育所職員）

退職が相次ぐ異常事態が続いている。業務が時間内に終わらず、有給休暇もとれない。笑顔で介護ができる自信がもてず、心を病んでいくのが心配。（高齢者入所施設職員）

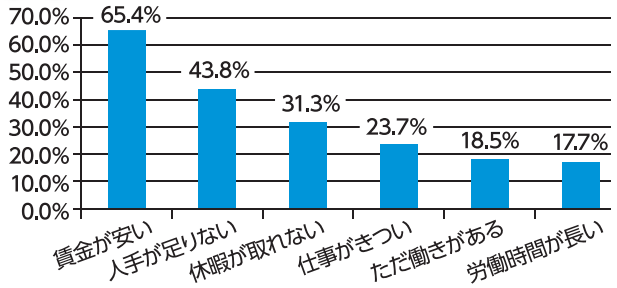


会議時間や作業の準備、片付けの時間がない。職員の教育、相談の時間もとれず、内容の充実がはかれないし、利用者への十分な支援ができない。休憩もとれず、健康面にも影響しストレスもたまる。（障害者通所施設職員）

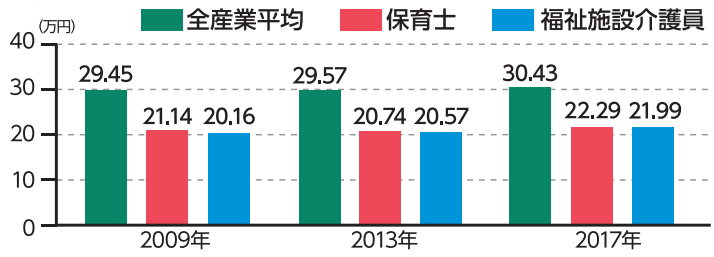
福祉職員だって人間らしく働きたい！

仕事や職場について特に不満や不安を感じること

福祉保育労 2018春闘要求アンケート（3,705人が回答）の結果から



全産業平均との賃金比較では（厚生労働省賃金構造基本統計調査より）



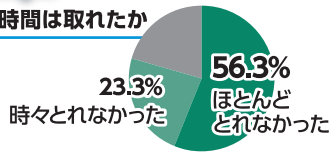
☆所定内賃金（時間外勤務手当、深夜・休日・宿日直・交替手当などを除くもの）

愛知県保育労働実態調査の結果（2018.6.18 東京新聞から抜粋）

あいち保育労働実態調査プロジェクトが2017.11～2018.2に実施

●1か月の残業時間の平均

●休憩時間は取れたか



●残業中にした仕事の内容

会議や打ち合わせ	54.8%	保護者対応	44.1%
行事の準備	53.2%	保育室を整える	43.0%
翌日以降の保育準備	46.2%	週の計画や月の計画を立てる	39.7%

裏面の国会請願署名にご協力ください

福祉職員の大幅な増員と賃金の引き上げを求める請願署名

衆議院議長 様
参議院議長 様

紹介議員

請 願 趣 旨

福祉職場は、どこも深刻な人手不足のために福祉を必要としている人に十分な福祉が提供できない危機的な状態です。その原因は、全産業平均より月10万円も低い賃金格差と休憩時間も保障されずに長時間労働を強いられる労働基準法違反の労働環境です。

政府は、処遇改善加算による賃金引き上げを図っていますが、福祉労働者全体の賃金底上げにはならず、職員間に格差が持ち込まれています。また、現場の実態に見合った職員の増員には、消極的な姿勢を続けています。その上、人材確保を口実に必要な職員数を資格のない人やボランティアで置き換える施策までがすすめられています。

このような実態のままでは、福祉労働者が健康で文化的な生活を営むことはできず、専門性を発揮することもできません。無理な働き方で健康を害して休職・退職すれば、ますます人手不足になる悪循環となります。

こうした事態を改善して、すべての国民が望んでいる「安心・安全な福祉」を実現するために、憲法25条に基づいて国の責任で予算を確保することが必要です。福祉職員を大幅に増やし、賃金を抜本的に引き上げることを強く求めて以下の内容を請願いたします。

請 願 項 目

(1)職員を大幅に増やして労働基準法等の法令違反をなくし、安心・安全な福祉職場にしてください。

(2)賃金を引き上げて他産業との月額10万円もの格差をなくし、福祉労働者にも健康で文化的な生活を保障してください。

氏　　名	住　　所（都道府県名からご記入ください）

＊この署名用紙は厳重に保管し、国会に提出します。請願以外の目的に個人情報が使用されることはありません。

全国福祉保育労働組合（福祉保育労）
〒111-0051東京都台東区蔵前4-6-8 サニープレイスビル5F-A
TEL 03(5687)2901　FAX 03(5687)2903
メール mail@fukuho.org　URL http://www.fukuho.info/